




●車への取り付けは、必ずこの取付要領書と取扱説明書の「安全上のご注意」に従って正しく行ってください。指定以外の取り付け方法や指定以外の部品を使用すると、事故やケガの原因となる場合があります。この場合は、当社では一切の責任を負いかねます。

■販売店様へ
接続、取り付け作業が完了しましたら、この取付要領書はお客様へお渡しください。



●別売製品接続および取り付けについては、別売製品に付属の説明書も併せてご覧ください。

接続・取り付け部品を確認する




■ ナビゲーション本体関係

	ナビゲーション本体	× 1
	スペーサー	× 1
	トラスネジ (5 mm × 8 mm)	× 8
	皿ネジ (5 mm × 9 mm)	× 8

■ 接続ケーブル関係

	電源コード	× 1
	Uエレメントコネクタ	× 1





■ ハンズフリー通話用マイク関係

	ハンズフリー通話用 マイク	× 1
	両面テープ	× 1
	クランパー	× 3

■ GPS アンテナ関係

	GPS アンテナ	× 1
	金属シート	× 1
	クランパー	× 3
	両面テープ	× 1

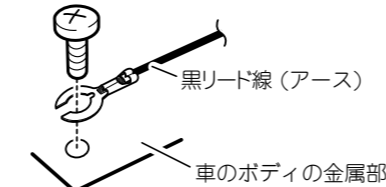
■ フィルムアンテナ関係

	フィルムアンテナ	⑧ × 1
	アンテナケーブル	× 1
	クリーナークロス	× 1
	クランパー	× 3

接続の前に知ってほしいこと

■ 接続上のご注意

- 接続する前に、必ず車のバッテリーのマイナス端子を外してください。
- 本機の黒リード線（アース）を必ず最初に車のボディの金属部に確実に接続してください。

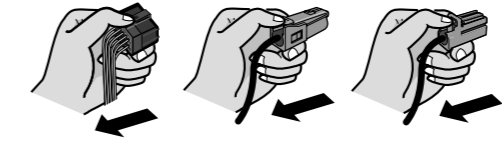


- エンジンスイッチに ACC ポジションがない車には絶対に取り付けないでください。取り付けると、バッテリー上がりの原因になります。
- 赤リード線（アクセサリ電源）は、常にバッテリーから電源が供給される電源回路には接続しないでください。接続すると車のバッテリーが消耗します。
- 若草色リード線（パーキングブレーキスイッチ）は、必ずパーキングブレーキスイッチの電源側に接続してください。接続しないと一部の機能が使用できなくなります。
- 黒リード線（アース）は、パワーアンプなどの消費電流が大きい製品のアースとは別々に取り付けてください。まとめて取り付けると、ネジが緩んだり外れたりしたとき、製品の発煙・故障の原因となる恐れがあります。
- 必ず付属の部品を指定どおりに使用してください。指定以外の部品を使用すると故障する恐れがあります。
- スピーカーのリード線を直接アースしたり、複数のスピーカーの（-）リード線を、共通にして接続しないでください。
- 本機と組み合わせるスピーカーには、最大入力 50 W 以上のハイパワー用で、インピーダンスが 4 Ω から 8 Ω のものを使用してください。規格以外のスピーカーのご使用は、スピーカーやアンプの発火・発煙・破損の原因となります。
- ガラスアンテナ車など、アンテナプースターの電源がある場合、必ず本機の青 / 白リード線（アンテナコントロール）を車側のアンテナプースターの電源に接続してください。接続を忘れるとラジオ放送の受信ができません。

アンテナプースターの電源の位置は、車種によって異なります。詳しくは、取り付け技術のある販売店にご相談ください。

■ コネクタの脱着のしかた

- コネクタは、“カチッ”と音がするまで押し込んで、確実に接続してください。
- スムーズに入らない場合は、無理に挿入しないでください。故障の原因となる場合があります。色が間違っている可能性がありますので、コネクタどうしの色を確認してください。
- コネクタを外すときは、図のようにコネクタ部分を持ってロックを押しながら引っ張ってください。コードを引っ張るとコードが抜けてしまうことがあります。



■ 接続のポイント

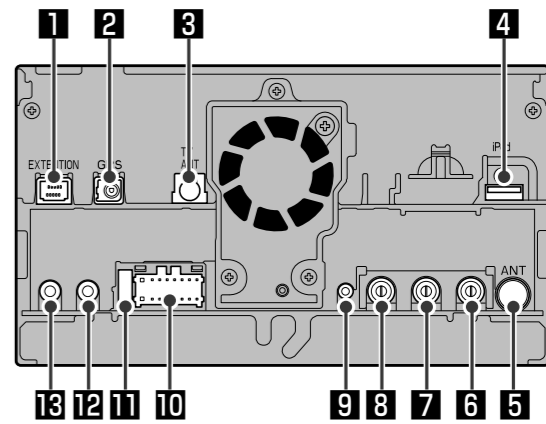
ノイズ防止のために

- ノイズ防止のため、次のものはナビゲーション本体や他のケーブル類、コード類からできるだけ離して配置してください。
 - * フィルムアンテナおよびそのアンテナコード
 - * FM/AM アンテナおよびそのアンテナコード
- それぞれのアンテナコードどうしてもできるだけ離してください。一緒に束ねたり、重ねたり、交差させたりしないでください。アンテナやアンテナコードにノイズが飛び込むと受信感度が悪くなります。
- システム全体の消費電流が大きくなると、電圧が不足する場合があります。そのようなときは、バッテリーから直接電源をお取りください。

■ ピンクリード線の接続について

- ピンクリード線（車速信号入力）は、内蔵の 3D ハイブリッドセンサー用のリード線です。必ず接続してください。
- ピンクリード線を接続しない場合は、簡易ハイブリッド方式で動作し、測位誤差が大きくなる場合があります。

接続端子の名称と働き



1 拡張入出力端子（黒）

別売の ETC ユニットまたは ETC2.0 対応ユニットが接続できます。

2 GPS アンテナ接続端子（緑）

付属の GPS アンテナを接続します。

3 フィルムアンテナ接続端子（黒）

付属のフィルムアンテナを接続します。

4 iPod/USB 接続端子

接続ケーブルを使用して、スマートフォンや iPhone/iPod が接続できます。

5 AM/FM/FM VICS 用アンテナ入力端子

車載のラジオ用アンテナを接続します。

6 バックカメラ入力（黄）

別売のバックカメラが接続できます。

7 リアモニター出力（黄）

別売のリアモニターが接続できます。

8 サブウーファー出力（黒）

別売のパワードサブウーファーが接続できます。

9 ハンズフリー通話用マイク入力端子（黒）

付属のハンズフリー通話用マイクを接続します。

10 電源端子（黒）

付属の電源コードを接続します。

11 ヒューズ（10 A）

注：ヒューズを交換するときは、必ず同じ容量のヒューズと交換してください。

12 AUX 入力端子（黒）

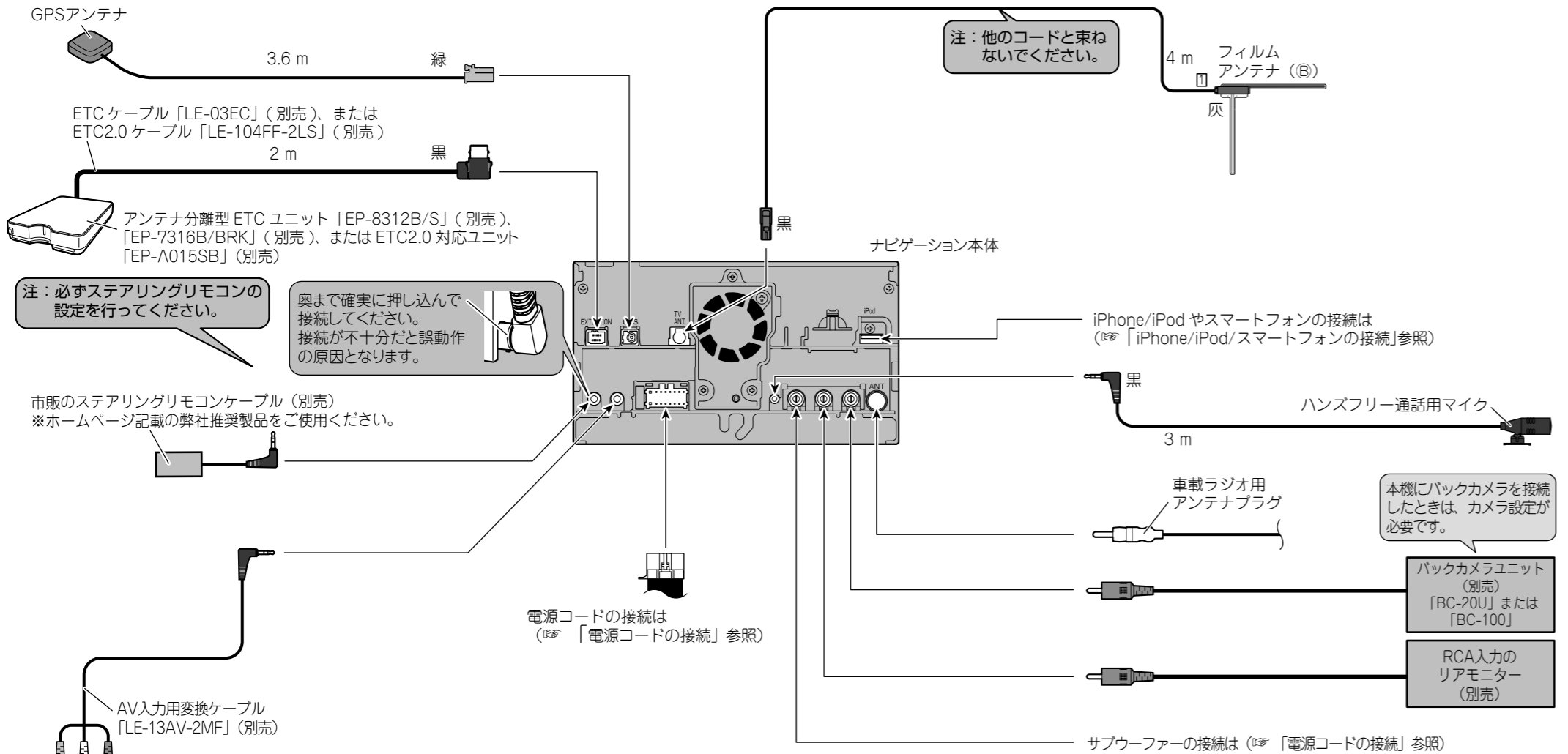
ビデオプレーヤーなどの外部映像機器が接続できます。

13 ステアリングリモコンケーブル接続端子（黒）

別売のステアリングリモコンケーブルが接続できます。

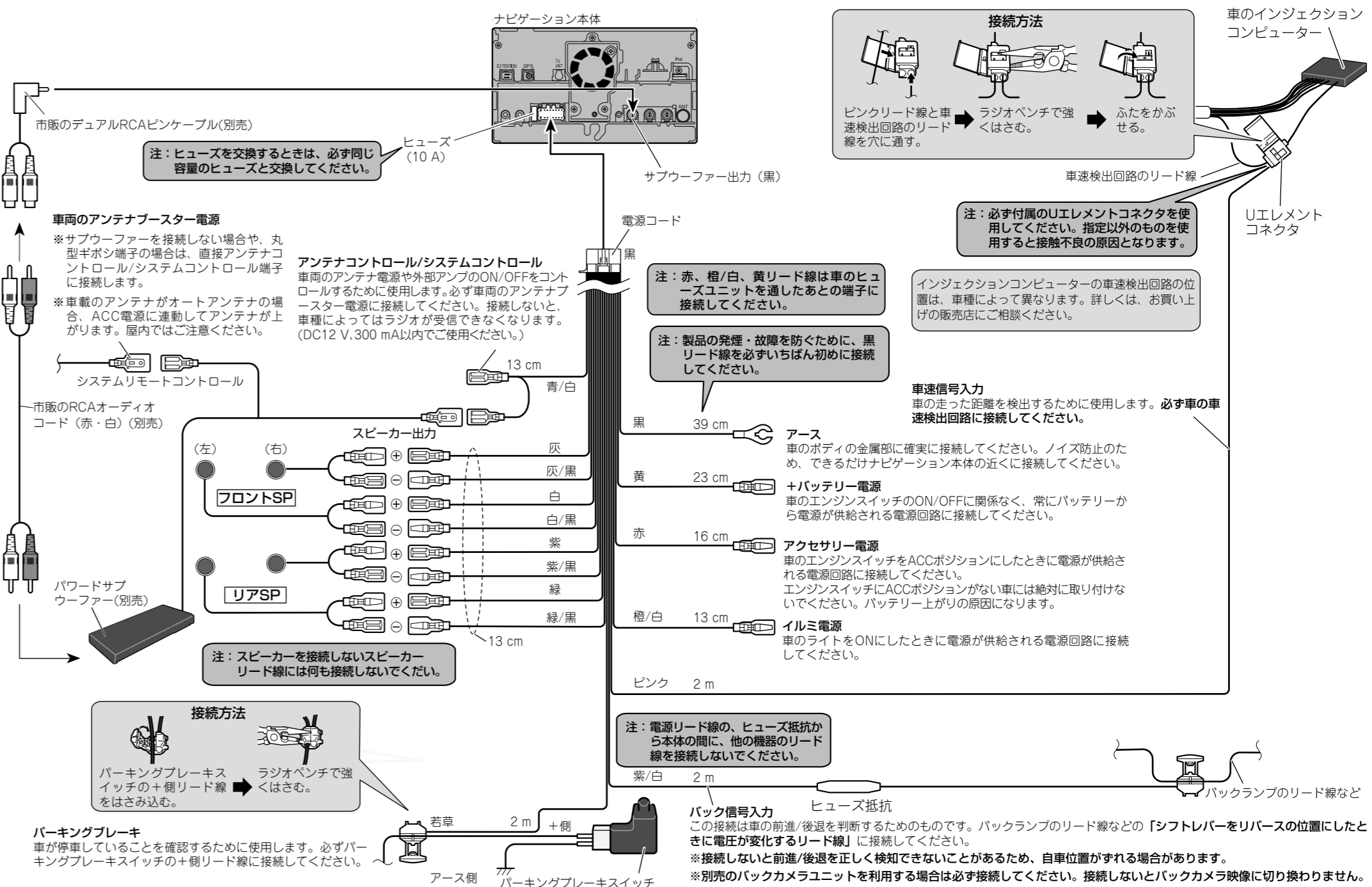


システムの接続



- 注意**
- 接続したリアモニターは、運転者が走行中に映像を見ることができない位置に設置してください。
 - パイオニア製以外のモニターを接続した場合は画像が乱れる場合があります。また、フロントモニターに表示される映像と画質は異なります。
 - 著作権保護された番組をビデオデッキなどで録画すると、著作権保護のための機能が働き、正しく録画できません。また、著作権保護の機能により、ビデオデッキを介してモニター出力した場合には、再生目的でも画質が劣化することがあります。これらは機器の問題ではありません。著作権保護された番組を視聴するときは、本機とリアモニターを直接接続して楽しみください。

電源コードの接続



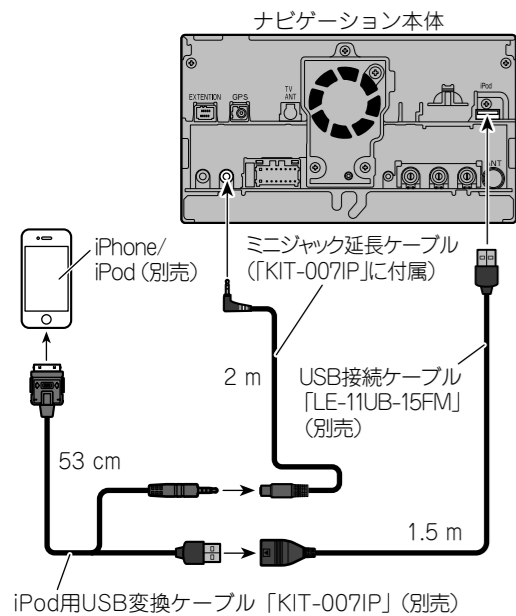
iPhone/iPod/スマートフォンの接続

■接続上のご注意

- 必ず車のバッテリーの端子⊖端子を外してから接続してください。
- 指定のケーブル以外は使用しないでください。動作不良や、製品の破損・故障の原因となる恐れがあります。
- お使いのスマートフォン、iPhone/iPodによって、本機との接続方法やご準備いただく別売ケーブルが異なります。
- Lightning - USB ケーブルは、車載用製品ではありません。車内に放置しないでください。

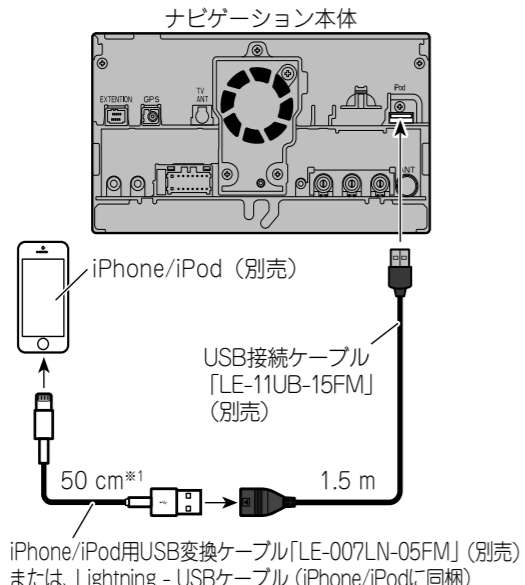
30 ピンコネクタ対応端末を接続する場合

- iPod ソースで音楽とビデオが楽しめます。



Lightning コネクタ対応端末で音声のみを入力する場合

- iPod ソースで音楽が楽しめます。

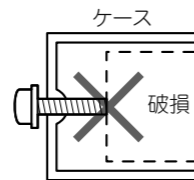


*1 iPhone/iPod用USB変換ケーブル〔LE-007LN-05FM〕(別売)の場合

取り付けの前に知ってほしいこと

■取り付け上のご注意

- 必ず本機に付属の部品を指定どおりに使用してください。指定以外の部品を使用すると、機器内部の部品をいためたり、しっかりと固定できず外れたりして危険です。



■取り付けのポイント

取り付け、固定する前に

- まず仮接続を行い、本機が正常に動作することを確認します。このときアンテナ類などは、受信状態の良い位置を確かめてから取り付けを行ってください。正常に動作しない場合は、接続に間違いがないか、もう一度チェックしてください。

粘着テープを貼り付ける前に

- 両面テープを貼り付ける場所は、汚れをよく拭きとってください。

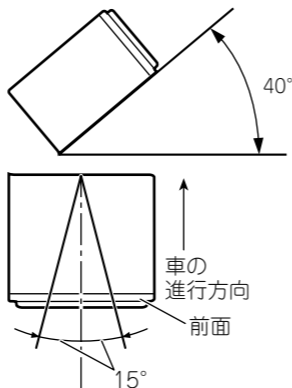
ノイズ防止のために

- フィルムアンテナの取り付けのしかたによっては、ラジオ放送に雑音が入る場合があります。フィルムアンテナは、フィルムアンテナの取り付けの説明に従って正しく取り付けしてください。
- ノイズ防止のため、次のものはナビゲーション本体や他のケーブル類、コード類からできるだけ離して配置してください。
 - *フィルムアンテナおよびそのアンテナコード
 - *FM/AM アンテナおよびそのアンテナコード
- それぞれのアンテナコードどうしもできるだけ離してください。一緒に束ねたり、重ねたり、交差させたりしないでください。アンテナやアンテナコードにノイズが飛び込むと受信感度が悪くなります。

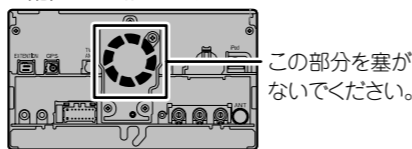
ナビゲーション本体の取り付け

■取り付け上のご注意

- 本機の性能を十分に発揮するために、できるだけ水平に取り付けてください。また、取り付けの車両の特性上、取り付け角度が傾いてしまう場合は、水平に対して上の傾き 40 度以内の角度で取り付けください。左右の傾きは車の進行方向に対してナビゲーション本体の前面が ± 15 度以内の角度で取り付けてください。



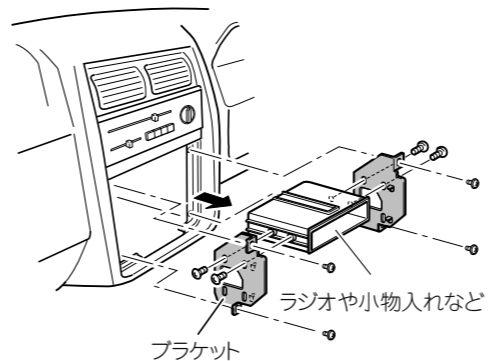
- 必ず本機に付属のネジを使用して取り付けてください。付属のネジよりも長いネジを使用すると、本機内部の部品をいためることがあります。
- 放熱を妨げないために、下図の部分を塞がないように配置してください。



■取り付けのポイント

- 本機の取付にはお取付の車種や年式により、市販の取り付けキットをご用意いただく必要がございますので、販売店にご相談ください。
- 市販の日産車用化粧パネルをご使用になる場合は上部にすきまが出来る様にパネルを上方向に寄せてお取付ください。

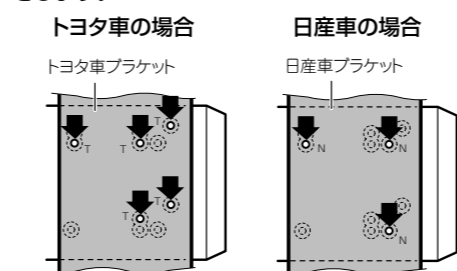
1 車両のラジオ、小物入れなどを取り外す



注：取り外すネジの位置などは車種により異なります。詳しくは、お買い上げの販売店、または、最寄りのディーラーにお問い合わせください。

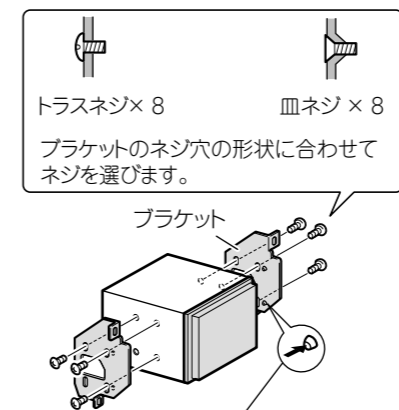
2 ネジ留めする位置を確認する

トヨタは T、日産は N のマークの部分にネジ留めをします。



3 ブラケットを付属のネジで取り付ける

左側、右側、それぞれ 4 カ所 (または 3 カ所) ずつ、付属のネジでネジ留めして、元どおり車に取り付けます。

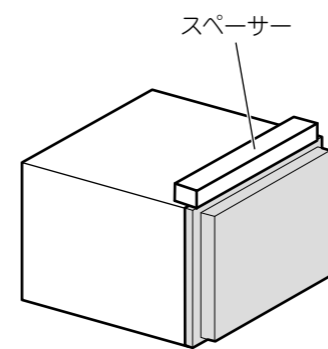


車両側のブラケットの凸部やツメが邪魔になり、浮いてしまう場合は、それらをハンマーなどでつぶす必要があります。
*作業の際には安全に十分ご注意ください。

注：付属のネジ以外は使用しないでください。付属のネジよりも長いネジを使用すると、本機内部の部品をいためることがあります。

■ナビゲーション本体取り付け後のご注意

ナビゲーション本体を取り付けたあと、車両との間にすきまがある場合は、ナビゲーション本体にスペーサーを貼ってすきまを塞いでください。なお、スペーサーを貼る手順は、車両によって異なります。



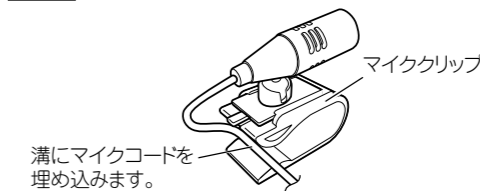
ハンズフリー通話用マイクの取り付け

■取り付け上のご注意

ハンズフリー時に明瞭な音質を得るために、マイクはできるだけドライバーの近くに取り付けてください。また、エコー (反響音) を軽減するため、なるべく車のスピーカーから離れた位置に設置してください。

■サンバイザーにははさんで取り付ける場合

1 マイククリップの溝にマイクコードを埋め込む



2 サンバイザーにマイククリップをはさみ込み、マイクを取り付ける

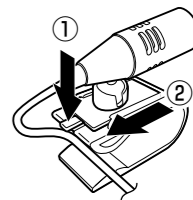
サンバイザーを上げた状態で取り付けます。サンバイザーを下げると、通話相手側へ音声が届きにくくなります。



■ステアリングポストに取り付ける場合

1 マイククリップを取り外す

ステアリングポストに取り付ける場合は、マイククリップを取り外します。



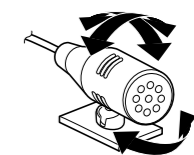
2 ステアリングポストにマイクを取り付ける

ステアリングポストに付属の両面テープで貼り付けます。



■マイク角度の調節のしかた

マイクの角度は、マイクの可動部を矢印の方向に動かして調節します。



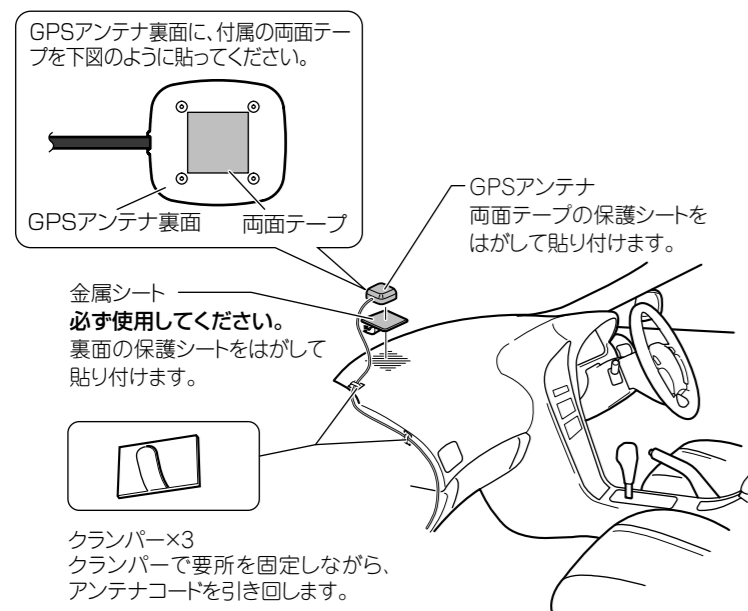
GPS アンテナの取り付け

■取り付け上のご注意

- 付属のGPSアンテナは車室内取付専用です。
- GPSアンテナは、ワイパーやピラーなどで遮られない場所に水平に取り付けてください。
- GPSアンテナを塗装しないでください。アンテナの性能が落ちる場合があります。
- GPSアンテナの取り付けには、必ず付属の金属シートを使用してください。使用しないと、十分な受信感度が得られなくなります。
- 付属の金属シートは、切って小さくしないでください。十分な受信感度が得られなくなります。
- GPSアンテナは、ナビゲーション本体から30 cm以上離して設置してください。また、余ったGPSアンテナコードをまとめて置くとともに、ナビゲーション本体から30 cm以上離して置いてください。近くに設置すると、受信感度が低下する場合があります。
- GPSアンテナは、グローブボックス内等に設置しないでください。十分な受信感度が得られない場合があります。
- GPSアンテナを取り外すときは、アンテナコードを引っ張らないでください。コードが抜けてしまうことがあります。

■取付例（ダッシュボード上）

車室内のなるべく水平な場所でアンテナがウィンドウの外に向く場所に金属シートを貼り付け、GPSアンテナを金属シートの上に貼り付けます。アンテナの取り付け位置は【接続状態画面】を参考に、十分に受信できる位置に取り付けてください。



フィルムアンテナの取り付け

■取り付け上のご注意

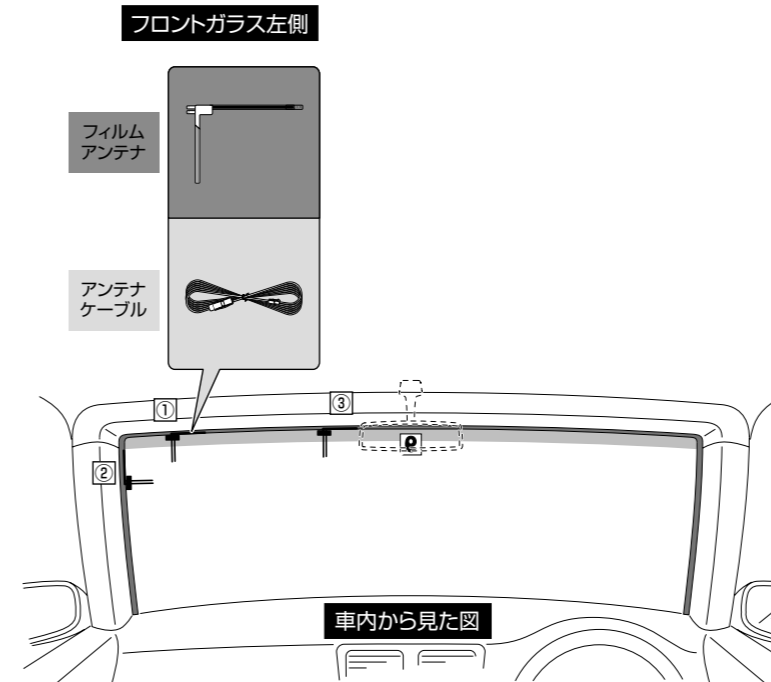
- 保安基準*に適合させるため、本書をよくお読みになり、正しく貼り付けてください。
※保安基準とは、道路運送車両の保安基準第29条および細目を定める告示第195条をいいます。
- アンテナは、フロントウィンドウ貼り付け専用です。フロントウィンドウ以外には取り付けしないでください。
- 熱線やプリントアンテナ上には貼り付けしないでください。ショートや発熱、性能劣化の原因になります。
- 本書では、フィルムアンテナの取り付け前に車内の内張りを取り外すよう説明していますが、ピラーにフロントエアバッグを搭載している車両の場合は、絶対にピラーを取り外さないでください。フロントエアバッグの誤動作などの原因となり大変危険です。ピラーを取り外さずにフィルムアンテナを取り付ける方法について、詳しくは、お買い上げの販売店にご相談ください。
- 必ずフロントウィンドウの指定の位置・寸法内に貼り付けてください。
- 車室内に取り付けるアンテナは、エアコン用モーターなどから出るノイズにより、テレビの映りが悪くなる場合がありますが、故障ではありません。
- 車種によって、取り付けられない場合があります。販売店に相談してください。
- 熱線反射ガラスや断熱ガラス、電波不透過ガラスなど、電波を通さないガラスを使用した車種の場合には、受信感度が極端に低下します。お買い上げの販売店に確認してください。
- 必ず車内の取り付け場所に、市販のテープなどでいったんフィルムアンテナとアンテナケーブルを仮留めして、エレメントとアンブが貼り付けられることを確認してください。

他のフィルムアンテナとの干渉を考慮して貼り付け位置を決めてください。

一度貼り付けると、粘着力が弱くなるため貼り直してできません。
必ずアンテナケーブルおよびフィルムアンテナを仮留めし、アンテナケーブルの引き回しなどを十分に検討してから貼り付けてください。

■貼り付け位置について

フィルムアンテナは、②の1種類、フィルムアンテナケーブルも1種類です。以下の推奨位置①～③のいずれかに貼り付けてください。

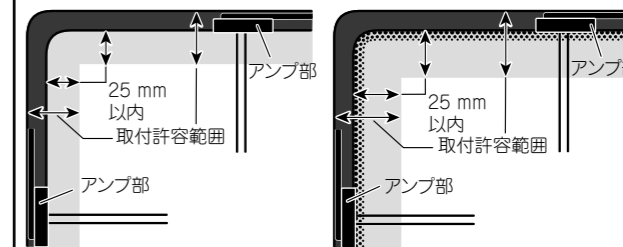


⚠️ 必ずお守りください

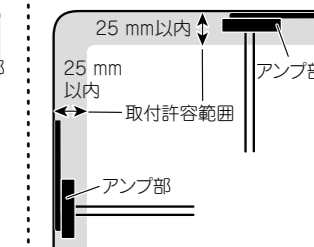
運転に安全な視野を確保し、性能を十分に発揮させるために、必ず「アンブ部の貼付許容範囲」および「エレメントの貼付許容範囲」の位置に貼り付けてください。許容範囲外に貼り付けると道路運送車両の保安基準に適合せず、車検に通らなかったり、整備不良の対象となります。

アンブ部の貼付許容範囲

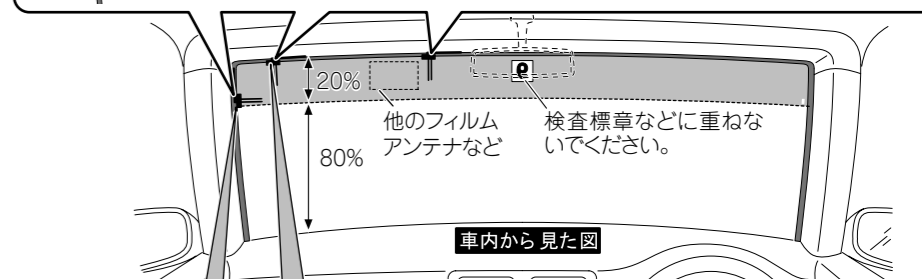
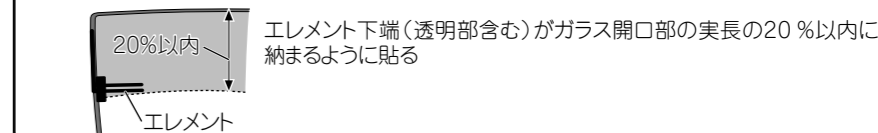
■セラミックライン有り



■セラミックライン無し

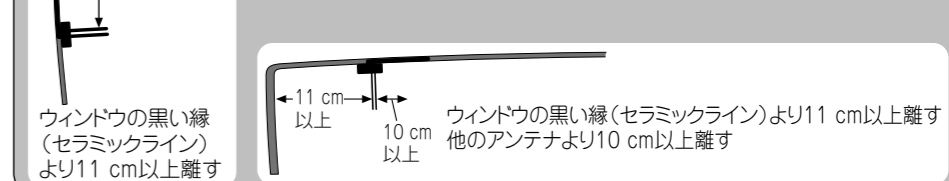


エレメントの貼付許容範囲



取り付け推奨範囲について

- フロントガラスのウィンドウの黒い縁（セラミックライン）より11 cm以上離す。
- 他のアンテナより10 cm以上離す。

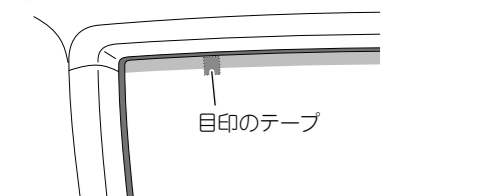


フィルムアンテナの取り付け(つづき)

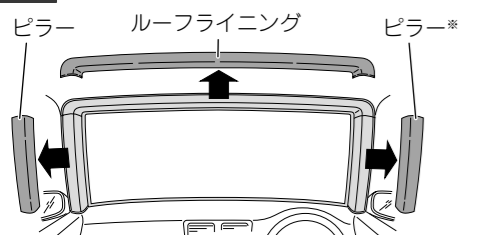
■フィルムアンテナを貼り付ける

1 フィルムの仮位置を決める

フィルムアンテナの貼り付けの際、「貼り付け位置について」を参照して仮位置を決め、テープなどで目印を付けてください。エレメント部とアンブ部の位置合わせとなる●マークが、ピラーなどで隠れないように注意して位置を決めてください。



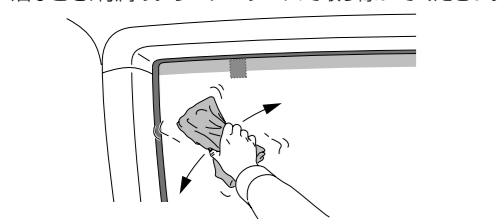
2 車内の内張り(ピラー、ルーフィライニングなど)を取り外す



3 ケーブルを引き回す仮位置を決める

4 フロントウィンドウ内側の汚れ、油などを取り除く

フィルムアンテナを貼り付ける場所の湿気、ホコリ、汚れ、油などを、付属のクリーナークロスで取り除いてください。

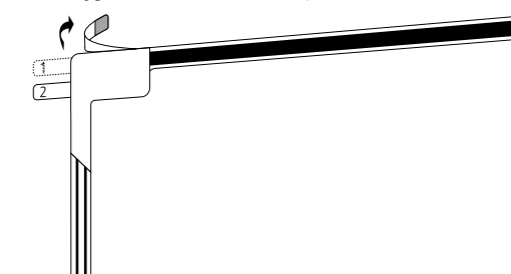


注：クリーナークロスで拭いたあとは、貼り付ける場所およびエレメントには触れないでください。

5 フィルムアンテナを貼り付ける場所を、十分に乾燥させる

6 セパレーター1をはがす

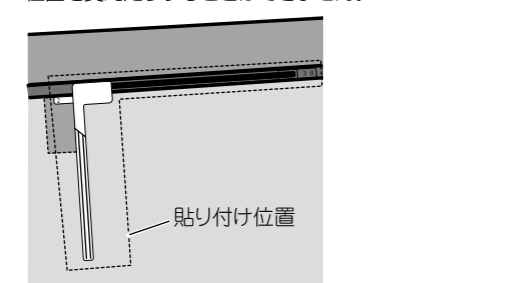
タグを持ってセパレーター1をゆっくりはがします。



※セパレーター1をはがしたあとは、粘着面に触れないでください。

7 フィルムをフロントウィンドウに貼り付ける

ガラス面の目印にフィルムを合わせ、フィルムに空気が入ったり、シワが寄らないようにゆっくりと端から貼り付けます。また、一度貼り付けたフィルムをはがしたり位置を変えたりすることはできません。

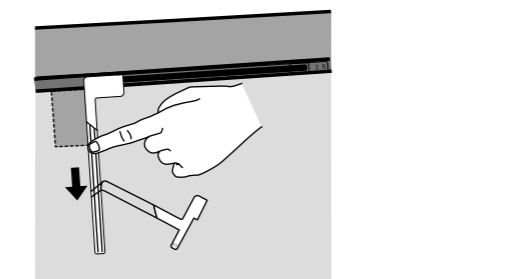


注：十分に汚れ、油膜、水分を拭きとってから貼り付けてください。また、真冬に車内が温かくなると、窓ガラスが結露しますので、十分に乾燥させてからフィルムを貼り付けてください。

※ガラス面が乾いたことを確認してから貼り付けてください。ガラス面が濡れているとフィルムがガラス面に貼り付かない恐れがあります。

8 セパレーター2をはがしながらエレメントを貼り付ける

指でエレメントをガラス面に押しつけながらセパレーター2をはがしてください。

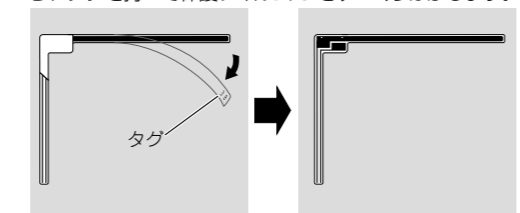


注：十分に汚れ、油膜、水分を拭きとってから貼り付けてください。また、真冬に車内が温かくなると、窓ガラスが結露しますので、十分に乾燥させてからエレメントを貼り付けてください。

※手順10でアンブを貼り付ける部分には触れないでください。

9 保護フィルム3をはがす

エレメントがガラス面に貼り付いていることを確認しながら、タグを持って保護フィルム3をゆっくりはがします。

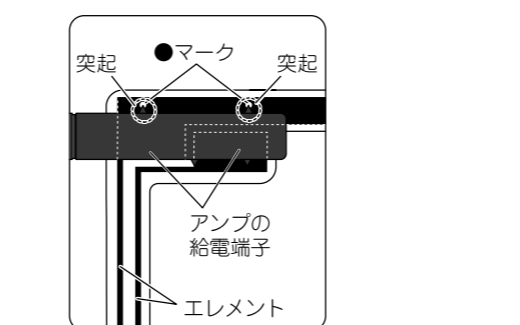
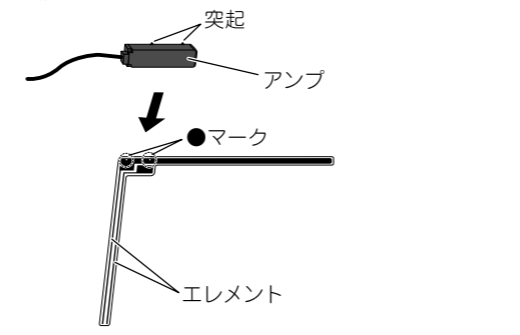


エレメントだけが貼り付く

※エレメントが保護フィルム3と一緒にはがれる場合は、保護フィルム3を元に戻してガラス面に貼り付くように強く押しつけてください。

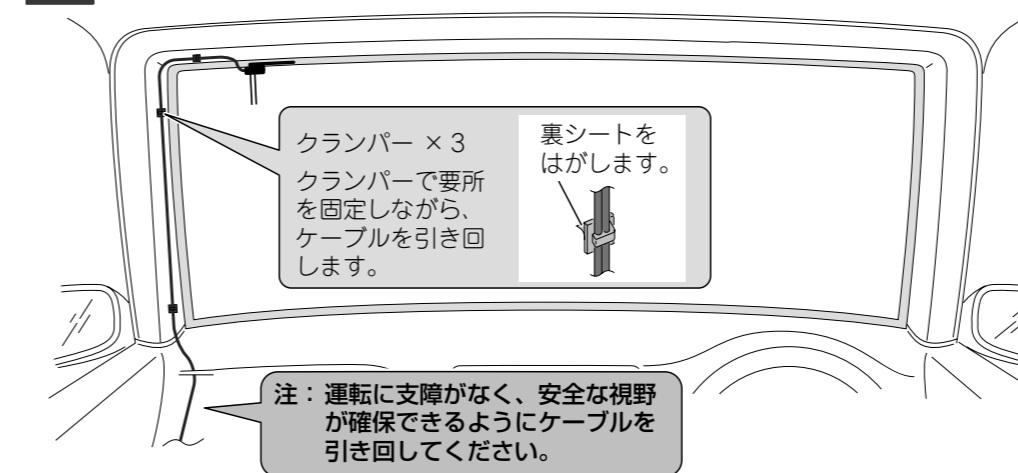
10 アンブをエレメントに貼り付ける

アンブの裏シートをはがして、エレメントの給電端子接触部の●マークと、アンブの給電端子の突起を合わせるように貼り付けます。組み合わせるフィルムアンテナとアンテナケーブルは決められています。アンテナケーブルにある番号を確認の上、手順11に記載しているイラストどおり貼り付けてください。



注：
●フィルムアンテナの●マークとアンブの給電端子の突起を合わせないと、受信できません。
●ケーブルを引っ張った状態で、アンブをエレメントに貼り付けないでください。

11 ケーブルを引き回す



注：危険ですので、運転席の足元付近は、配線を引き回さないでください。

12 内張りを元に戻す

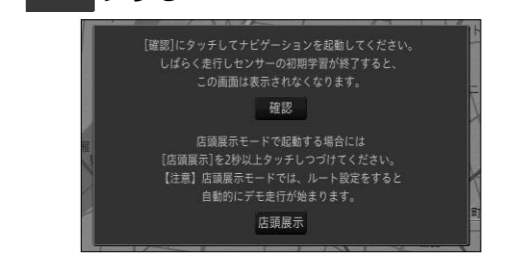
注：アンブのケーブル根元部に負荷がかからないように注意してください。

接続・取り付けの確認を行う

接続・取り付けが終わったら、本機を動作させ、接続・取り付けの確認を行ってください。

1 車のエンジンをかける

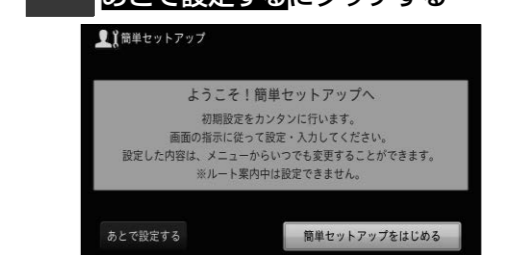
2 次の画面が表示されたら確認にタッチする



メモ
●この画面は、初期学習が完了していないときにエンジンをかけると表示されます。

注：店頭展示にタッチしないでください。タッチしてしまった場合は、一度車のキーを抜いてからエンジンをかけ直してください。

3 次の画面が表示されたら、あとで設定するにタッチする



4 地図画面が表示されたら(MENU)ボタンを押し、情報-システム情報-接続状態の順に操作する



5 接続状態を確認する(※次ページ)



メモ
●◀前ページ、▶次ページでページ送りができます。

6 接続状態を確認したら、(現在地)ボタンを押す

サブウーファーの設定を行う

本機にサブウーファーを接続したときは、サブウーファーを固定したあと、車の窓やドアを閉めた状態でサブウーファーの設定を行ってください。

1 低音を含む音楽を再生する

2 MENUボタン押し、設定・編集—オーディオ設定にタッチする



3 詳細設定—サブウーファー設定にタッチする



4 各項目を選び、設定を行う



サブウーファー出力	ON に設定します。
位相	違和感がなく、低音の音量が大きく聞こえる方を選びます。
カットオフ周波数	適切な音質に調整します。
レベル	適切な音量に調整します。

AUX の設定を行う

本機に外部機器を接続した場合は、AUX 設定を行ってください。

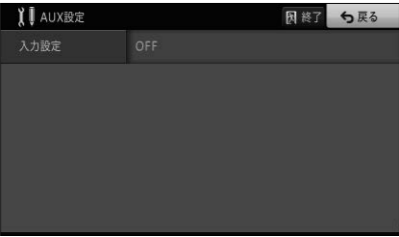
1 MENUボタン押し、設定・編集—ソース別設定にタッチする



2 AUX 設定にタッチする



3 入力設定にタッチする



4 ON にタッチする



センサー学習のエラーメッセージ

接続確認と各種設定を完了し、走行を開始すると本機は自動的に 3D ハイブリッドセンサーの初期学習を行います。その際、次のようなエラーメッセージが表示されたときは、エラーの原因を取り除いてください。

■ 走行開始後のエラーメッセージ

車速信号線が外れました。接続を確認してください。
車速パルス信号が異常です。接続を確認してください。

ピンクリード線（車速信号入力）の接続先および接続状態を確認してください。

3D ハイブリッドセンサーが正常に動作していません。本体の取り付け角度や向きを確認してください。取り付けが正常な場合は、お買い上げの販売店または三菱電機修理受付窓口にご相談ください。

「ナビゲーション本体の取り付け」を参照して、取付角度が間違っていないか確認してください。取付角度が正しい場合は、内蔵センサーの故障が考えられます。販売店または修理受付窓口にご相談ください。

車速パルスが接続されていません。簡易ハイブリッドで動作します。

ピンクリード線（車速信号入力）を接続してください。接続すると、3D ハイブリッドで初期学習をやり直します。

■ その他のエラーメッセージ

測位不能になりました。お買い上げの販売店または三菱電機修理受付窓口にご相談ください。

ナビゲーション本体の故障、劣化等が考えられます。販売店または修理受付窓口にご相談ください。

GPS アンテナが接続されていません。接続を確認してください。
GPS アンテナが異常です。お買い上げの販売店または三菱電機修理受付窓口にご相談ください。

GPS アンテナの接続を確認してください。正しく接続されている場合は、断線・故障・劣化等が考えられます。販売店または修理受付窓口にご相談ください。

内蔵のセンサーが異常です。お買い上げの販売店または三菱電機修理受付窓口にご相談ください。

内蔵のセンサーの故障が考えられます。販売店または修理受付窓口にご相談ください。

取り付け位置の変化を検出しました。センサーの再学習を開始します。

本機の取り付け位置の変化を自動で検出したことをお知らせするメッセージです。

